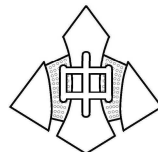


手をたずさえて

“KOHARADA WAY” 自分に打ちかて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年10月2日（金）発行

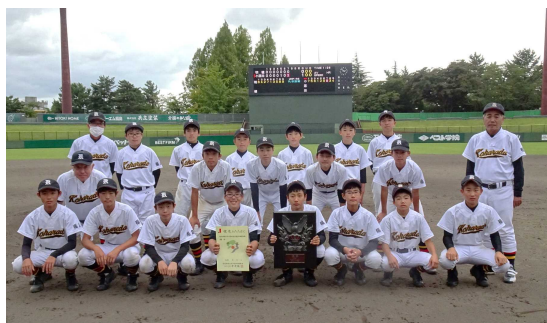
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

生徒達の頑張りに大きな拍手をおくります！

～ 郡山市新人総合体育大会 開催される ～

台風等の影響もあり、2週にまたがって開催された郡山市新人総合体育大会。新人チームでの最初の大きな公式試合で、各競技において熱戦が繰り広げられ、粘り強いすばらしい戦いを数多く見る事ができました。生徒達の頑張りに大きな拍手をおくります。

主な成績として、野球部、女子ソフトテニス部（団体）が見事優勝に輝き、男子ソフトテニス部（団体）が第3位となりました。野球部においては、2度3点リードされるも追いつき、タイブレークを2回行いサヨナラ勝ちした準決勝（対高瀬中）、そして、決勝（対明健中）では最少得点を一丸となって守り抜きました。私事になりますが、軟式野球の専門部会長を仰せつかり5年目ですが、初めて自校に優勝の賞状と盾を手渡すことができました。女子ソフトテニス部は、予選リーグでの優勝候補の高瀬中との激戦を勝ち抜き、その勢いで最後まであきらめない粘り



野球競技表彰式

強いプレーを随所に見せ、予選から決勝まで全勝し、見事団体戦優勝を勝ち取りました。それ以外の競技でも、多くの頑張りがあつた。コロナの影響で大きな声での応援はできませんでしたが、選手同士が声をかけ励まし合いながら全力でプレーする姿が見られました。しかしながら、勝負の世界は厳しく、うれし涙あり、悔し涙あり、



優勝に輝いた野球部・女子テニス部

部員それぞれに様々な想いがあつたことでしょう。失ったものに目を向けるよりも、今回の大会で得たものや学んだものに目を向け、前へと進んでほしいと思います。

しっかり届いた3年生からのエール！ 新人総合大会壮行会

壇上に勢揃いした旧部長たち

9月18日（金）に行われた市新人総合大会壮行会では、今回『旧部長からの激励のことば』が初めて行われました。ステージ上に勢揃いした10名の旧部長達。一人一人から心のこもった激励の言葉が選手に伝えられました。そして、校歌、手拍子、エール、レッツ・ゴーなど、朝練を重ねてきた応援団の演舞。3年生が中心となり気合いの入った躍動感溢れるすばらしい応援の型を披露してくれました。さらに、応援団のリードによる3年生を中心とした応援が展開され、選手達の気持ちを大いに鼓舞してくれた壮行会でした。運動部の3年生にとっては本当につらい年でしたが、後輩のために力を尽くす3年生の姿、とても頼もしく立派でした。



保護者の皆様の温かいご支援に感謝いたします

今回は会場での応援をいただくことはできませんでしたが、生徒達は本当に頑張ってくれました。日頃からの部活動に対するご支援・ご協力に心より感謝いたします。保護者の皆様の支えがあってこそ部活動です。新チームの戦いはこれから続きます。今後ともよろしくお願いいたします。



“人間としての力”を高めるために… 大会の総括

今回の新人大会でも生徒達の光り輝く姿をたくさん見る事ができました。一方で満足がいかなかった部もあったと思います。様々な想いがあることでしょう。多くの運動部が県中大会や県大会等の次のステージへと進んだり、連盟・協会主催の大会に出場したりすることになりますが、今後の練習においては、もう一度基本に立ち返ることが必要だと思います。まずは“走ること”、それによって持久力や強い足腰をつくる。そして、基本プレーの反復練習など、基礎固めをしっかりと行うことです。さらに、今回の戦いを総括し、個人としての課題、チームとしての課題をはっきりとさせ、これからの練習で補強・修正しながら個人の技能やチーム力を高めていってほしいと思います。

そして、勝つため、記録を伸ばすため、賞をとるためだけでなく、“人間としての力”を高めるために部活動はある、ということを念頭におくことです。“人間としての力”には専門的な知識や技能・技術、チームワーク、規範意識（ルールを守ろうとする心）、礼儀・マナー、他者を尊重し切磋琢磨しながら互いを高め合う力、忍耐力など、様々な要素があります。だからこそ、部活動の時間だけでなく、毎日の授業への取り組み、挨拶や時間厳守、思いやりの心や善悪の判断に裏付けられた言動など、自分の普段の学習や生活が部活動の今後の成績にもつながっていくということを忘れないでほしいと思います。昨年日本各地で熱戦が繰り広げられたラグビーW杯。あのときの日本代表の合い言葉が“**One Team (ワンチーム)**”でした。それぞれの部が、切磋琢磨する中で仲間との絆を強め、ひとつのまとまったチームとして成長し続けることを期待しています。この



“人間としての力”や“**One Team**”の考え方は文化部にも当てはまる所はあります。

そして、大きな大会が終わったこの節目に、もうひとつ次のようなことも考えてみてください。

プロ野球で活躍した野村克也氏がこんな言葉を残しています。

「勝ちに不思議な勝ちあり、負けに不思議な負けなし」

たまたま勝つことはあっても、たまたま負けることはまずない。負けるには負けるだけの理由が必ずある、負けたときはその理由をよく考えれば、そこから学べることも多い、という意味がこの言葉に込められています。

オリンピック水泳の金メダリストの北島康介氏もこう言っています。

「負けを知ったとき、初めて勝つことができる」

もちろん、努力して結果が出ると、自信になります。努力せず結果が出ると傲（おご）りになったり、努力せず結果も出ないと後悔が残ったりします。でも努力して結果が出ないとしても、勝負に負けたとしても「経験」が残ります。自分の失敗や挫折に正面から向き合い、それらを受け止めていくその「経験」こそ、勝利からは学べないとても貴重な学びにつながっていくものと考えます。



ようこそ小原田中へ 阿部香奈先生(音楽)着任

大澤先生がご退職されさびしい気持ちになりましたが、10月1日には新たな音楽の教員として阿部香奈先生が着任しました。1年生の最初の授業では、自己紹介の中でウクレレを弾きながら「カントリー・ロード」の歌を披露してくれました。透き通った歌声がすばらしかったです。これからの音楽の授業も楽しみです。阿部先生からのメッセージです。

みなさん、こんにちは。10月1日より音楽科教員として着任いたしました阿部香奈と申します。1学年の副担任で、部活は吹奏楽部を担当します。私は小学生の頃に合唱を始め、中学・高校・大学と合唱に打ち込んでまいりました。ウクレレを弾きながら歌うことも好きです。

授業では、歌唱・器楽・創作・鑑賞を通して様々な国の音楽を学びます。みなさんの馴染みのないジャンルの曲を取り上げることもあります。ぜひ興味をもってもらえると嬉しいです。

不慣れで至らない点が多々あると思いますが、みなさんが楽しめるような音楽の授業ができるよう一生懸命頑張ります。

どうぞよろしくお願いいたします。

